

SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地



ペアリングの作業風景 (こぶし作業所)

特集

すべての施設の認可復活採択を求めて
七・一二二緊急集会の波紋

No.268



～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ けやき作業所のページ..... 5 P
- ④ サポートセンターのページ..... 6 P
- ⑤ セルプ・みらいのページ..... 7 P

すべてでの施設の認可復活採択を求めて

七・一一緊急集会の波紋

小規模作業所のゆううつ。

芳賀台地の恵みをたつぷり含んだ、のどかな梨畑の広がる一角…

芳賀町にある第二けやき作業所は、ご存知の通り広い校庭のある小学校跡地を利用した精神障害者の小規模作業所である。精神障害者“小規模作業所”(無認可)この二つの言葉を頭の隅に置きながら拝読いただけたら幸いです。

私たち第二けやき作業所は、現在一市五町の芳賀圏内及び宇都宮市、河内町、南那須町と圏外より

合わせて一九名の登録メンバーと一名の体験メンバーが活動しています。

私がこの作業所に臨時職員として採用されたのは一年前でした。

作業所というからには当然仕事をメインに活動していますが、下請け作業の搬入や納品には四km離れたけやき作業所の車が空いている時にお借りしている。なんて効率の悪い仕事をしているのだろうかと思いをかきました。また、正規職員が不在。精神障害に関しては

素人同然の臨時職員二名が実質施設の運営をしている。ただひたすら疑問を感じながらのスタートでした。調子を崩したメンバーの対応は同法人内の生活支援センター(県東ライフサポートセンター)に

お任せ。給食厨房担当、下請け担当の二名体制では外に出せざるを得ない状況でも躊躇してしまふ。なんとか前向きに改善を望むものの、人的、経済的な悪循環の中で一年でもありました。

小学校跡を芳賀町より無償貸与されているとはいえ、国庫、県、

市町補助金を集めても総額は五五〇万円足らず。のどかな景色とは裏腹に台所事情は本年度も財政の危機といった現状です。

利用者からは「送迎があれば、通えるのに」日中活動の場を求めている社会的入院患者の当事者、ご家族のニーズに答えられず胸の痛むことも多い…。こうした悪循環を乗り越え、新たな飛躍をして精神障害者の生活の拠点として社会復帰施設(法定施設)へ移行しよう。それが第二けやき作業所が三年をかけて出した答えでした。

① 特集

怒り、またゆううつ。

東京・永田町地下鉄の階段を一定の方向に流れる人の波。去る七月二二日、予想を大幅に上回る六〇〇名を越す人々が永田町は砂防会館に集まっていた。怒り、動揺、不安を隠しきれないざわめき……。

この緊急集会は、平成一五年度における一六一件の精神障害者社会復帰施設整備申請数に対し、採択数三五件（厚労省公表数）、二二・七%の採択率に留まるという異常な事態に、全国の精神障害に関わる当事者はもちろん施設関係者が集まった。昨年度も一昨年度も社会復帰施設の施設整備費は、特別の事情がない限り都道府県などから申請のあったすべてが採択されてきたからである。（昨年度は一五二件が新規採択数）

精神障害者社会復帰施設は障害者基本計画と新障害者プラン

で具体的な数値目標が掲げられたという矢先なのである。精神障害関連五団体の要望書に対し厚労省の回答は「予算減額となった。繰越金がなかった」さらには、「事実上難しい」「努力したい」「検討する」としどころどころの回答である。

「一体厚労省は何を考えているんだ!」「土地も確保し数千万の寄附金を集め、数百万の設計料はどうしたらいいのか!」「圏域で未設置のところを優先的にという方向性が出ているにも関わらず、なぜウチが採択されないのか!」「期待に胸をふくらませた当事者や家族たちへどんな説明をしていけばいいのか!」「知的障害と精神障害の通所授産施設合築の申請をしたのに精神障害施設分だけ認められなかった」。

現場からの報告、国が掲げていた精神障害者施策の裏切りには、社会復帰施設への移行という答え

を出した第二けやき作業所にとっても信じがたい内容でした。

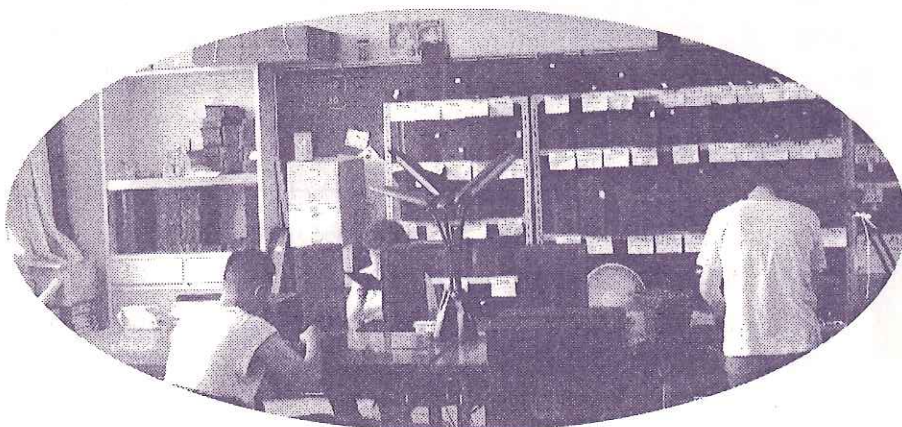
今後、今年度全国の不採択となった申請は、補正予算として組み込まれていくのか、小規模作業所である第二けやき作業所をはじめ新たな社会復帰施設を誠実に切実に願っている関係者のその思いには不透明感と苛立ちが隠せない。

梅雨が明けた八月、ジリジリと容赦なく照りつける太陽。しかし、私たちの願いは決して打ちひしがれることはない。短い命を懸命に生きんとするセミの鳴き声が鳴りやまないように。

（第二けやき作業所職員）

追伸。

七月三〇日、厚労省精神保健福祉課より内示が出ました。一六一件中三五件の採択に加え、今回、圏域内の未整備地域優先による四〇件の追加採択がされました。



こぶし作業所ニュース

毎年暑い夏が近づくと、自治会役員会の話し合いが、とても活発になります。ボーナス交渉…ではなく、アイス的话题で…。こぶし作業所では、古くから毎年夏になるとアイスを食べる習慣(?)があります。ただし、月に1回気温が30℃を超える日に限ります。また、アイス代は、なかまの働いた給料から積立てた自治会費によって支払われます。この責任重大な任務に、今年は亀田さんが就きました。

30℃を超えていそうな日になると、自治会役員が動き出します。まず食べるか否かを決定し、発注する数を集約。職員に報告し、いざ発注! 亀田さんを他の役員がバックアップし、絶妙な連携プレー!!!しかし、決定から発注まですべてを役員が行わなければならない、なかなかアイスを獲得することができません。そんな毎日が過ぎてゆきます。月が変わるとその権利もパーに…。

今年は、冷夏ながらも月の後半になると幸運にも猛暑がやってきて、毎月順調にアイスを獲得しています。とても小さな取組みですが、作業を終えて冷たいアイスでひと時暑さを忘れる喜びと、自分たちだけで最後まで成し遂げる喜びを味わっていただけたらと、職員もアイスの日を楽しみに待っています。

～ある日のできごと～

野口さん

昼食をきれいに食べきった後、会議室に移動しました。「おにく」「おにく」「おにく」と3回言いました。そう、その日の昼食はお肉でした。よほどおいしかったのでしょう。満足気な表情でした。

飯野さん

「古橋さんがいない!」と訴えました。昼食の後、二人でやりとりをしているので、いつも事務所にいる古橋さんがいないのが気がかりだったのでしょうか。

キッチンセリフで

斎藤由紀さんが、「3番行ってきます」と言いました。初めてのことだったので皆びっくり。3番とはトイレのことで、皆で決めた約束事です。石川さんは「すごい!」と感心してそのことを皆に伝えてくれました。

紙すき班で

紙すき班の野中班長と見目さん。牛乳パックの裁断を一緒に行っています。見目さんは牛乳パックにハサミを入れる時や新しい工程に入る時など、野中さんに確認を取っています。野中さんを班長として信頼しているようです。

新 人 紹 介

相川 素子 (あいかわ もとこ)

住所: 平松本町 誕生日: 1月21日

年金生活を夢見ていましたが、現実には厳しくがんばって働いております。

趣味は、おいしい物を食べ、好きな音楽を聴き、時々バイオリンを弾いたり踊ったりしています。近々作業所でミニコンサートを行う予定です。

③ けやき作業所

ボーナスを要望します!

今年も六月の利用者ボーナス要求の時期がきました。ボーナス要求とは、けやき作業所利用者からの意見を集約し、利用者自治会役員が中心に話し合い、最終的に、けやき作業所所長と直接交渉することになっていきます。今月は、ボーナス交渉に至るまでの自治会役員会議の様子を中心にこれまでの話し合い経過をお伝えしたいと思います。

第一回目の会議ではボーナスをどのように要望していくかが話し合われました。

会長

「いくらぐらいボーナス欲しいですか?」

書記

「六万円くらい...」

副会長

「みんなの意見を全大会(けやき利用者の全体集会です)で聞かないといけない」

後日、行われた全大会では「携帯電話が欲しい、布団が欲しい、コンサートに行きたい」などの意見が出され、金額は五万円〜一万円を希望するという結果でした。

その意見を聞いての第二回役員会議の様子です。

副会長

「みんなから出された意見をまとめるのは難しい...」

会長

「どんな要望書を書いていいかわからない、こちらから案を出さなければ話がまとまらない」

書記

「今年はどうくらい授産(けやき作業所)にお金(自分の給料のあまり)があるんだろう、矢崎さん(会計担当)に聞いてみま

副会長

「それでも要望しよう。出さなきゃ、伝わらないよ!」

職員

「第二けやき作業所の虹の会(利用者自治会)はボーナス要望しならしいよ」

会長

「やっぱりそう来たか...(いやな顔)」

「一度、合同役員会議を開催して



しょう」

第三回の会議では授産会計の収支決算書が出されました。

職員から説明を受けて...

会長

「石鹸班は赤字か...(困った顔)」

書記

「下請け班もあんまり稼いでないなあ(困った顔)」

会計

「パン班だけです。五〇〇万円も儲けてるのは...」

けやき自治会

「赤字はわかっているけど欲しいものは欲しい」

「職員はもらえるのに自分たちだけもらえないのはおかしい」

第二作業所の自治会が会議に加わるにより、今まで話し合うことができなかつた具体的なお金の問題や、「欲しい」だけではボーナスは要求できないこと、どういう仕事をすれば給料をたくさんもらえるのか、四月から始まった、時給制度問題や、住宅手当の問題など、途切れることなく議論は続きます。

けやき自治会

「こういう合同会議はもつと聞いたほうがいいよ、第二作業所の様子がよくわかった、話がおもしろい」

という感想が出されました。

以上の話し合いからも、ボーナス要望の取り組みとは、ただボーナス(お金)が欲しいというだけの取り組みにとどまらず、自分たちの仕事を見つめなおし、これからの仕事作りについてみんなが考えたり、自分の生活の中で、なぜお金というものがいいのか、など話に広がりを持たせてくれる大切な取り組みとなっています。



関東ライフサポートセンターだより

ほっとCHA

平成15年7月
精神障害者地域生活支援センター
関東ライフサポートセンター
芳賀町稲毛田1532番地
TEL 028-687-0311
FAX 028-687-0325

梅雨時のジメジメが続いている毎日です。今年の梅雨は雨が多く感じられるのは私だけでしょうか？
皆さん、今年の夏は何をしますか？ 早く輝く太陽がみたいですね！

楽しかったです！ ソフトバレー交流会

去る6月23日、皆藤病院デイケアの皆さんとソフトバレー交流会に出かけてきました。ほっとCHAからは7人のメンバーさん、そして皆藤病院からはたくさんのメンバーさん、ボランティアさんが集まり気持ちよい汗をながしてきました。今回は参加して下さったなかで一番気合が入っていたメンバーさんから感想をいただきました。

『関東ライフサポートと皆藤病院デイケアでソフトバレーボールをして遊んだこと』

6月23日に皆藤病院デイケアと関東ライフサポートの皆藤病院体育館で最初の1回目は、ソフトバレー大会を合同で試合をしました。

ソフトバレーでは皆藤病院デイケアA,B,Cと関東ライフサポートとソフトバレーボールの試合をグループに、入り試合をしました。1位には、たどりつけなかったのがとても残念でした。

午後からは、交流会で私は、Eさんと卓球で試合対戦しましたが、このところ何度も連勝していて心良く楽しませてもらいました。

もう一度皆藤病院デイケアメンバーの交流会がある方が良いと思う。

T. N.

新任職員紹介

後藤 智行 東京都新宿区出身

趣味：ディスクゴルフ（frisbeeのゴルフみたいなもの）

ソーラン節を踊ること（金八先生でやっていたもの）

一言：とにかくちゃきちゃきの江戸っ子です。お祭り大好きで楽しいことを日々探し回っています。

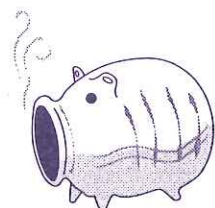
ほっとCHAのスタッフがこれで5人全員そろいました。若さと行動力を売りに今後もパワー全開で頑張ります！
皆様からの温かいご支援とご協力をよろしく
お願いいたします。

◆ 8月のほっとCHA予定 ◆

- 6日(水) カラオケDAY
- 10日(日) 日曜開所
- 13日(水) 連休開所
- 15日(金) 連休開所
- 17日(日) 連休開所
- 22日(金) 家族会
- 23日(土) 納涼祭
- 27日(水) 学習会(第2回ケース記録について)

◆ 8月の休所日 ◆

- 2日(土) ・ 3日(日) ・ 9日(土) ・ 14日(木)
- 16日(土) ・ 24日(日)
- 30日(土) ・ 31日(日)



みらいニュース



ポーナス交渉

六月、巷ではポーナスが話題になり、そしてみらいでも「ポーナスが欲しい!」という声が出始めました。そこで六月一六日、第四回目の自治会役員会でどのように交渉を進めていくか話し合いが行われました。最初に利用者全員が希望するポーナス金額をアンケートしたところ、一〇〇〇円〜一六万円までと様々でした。そして最終的に給料の五か月分を7月の給料日に支給して欲しいというところまでまとまりました。要望書はパソコンを使用して作り上げ、自治会役員四名が代表して鈴木所長に提出し、その後、鈴木所長との要望書についての懇談会が行われました。

(自治会長 渡辺幸子さんの感想)

「鈴木所長とポーナスのことについて話し合い、五か月分は支給出来ませんと言われました。みんなが働いて得た収入がいくらぐらいあるか分かったほうがいいですねと言われ、私は今度の冬のポーナスの時にはちゃんと調べておきたいと思っています」

役員さんたちは今回のポーナス交渉でたくさんのお話を学んだようです。そして要望書に対する回答書は七月一日に手渡されることになりました。

保護者会で親睦会開催!

六月一八日に、第一回の保護者の親睦を図るために、カラオケ会を開きました。みらいのお弁当を食べながら、楽しい会話と共に会食を過ごすことができました。それから、一人ずつ歌ったりと、とても盛り上がりました。そして、二時間半、みんなわきあひあいと楽し

むことができました。
今度やるときは、仲間も入れてますます盛り上げられたらいいと思います。
保護者会会長 阿久津みち子

後援会「みらいの会」の 本年度活動計画の紹介

メインイベントとして、春夏秋冬、年四回の「みらいフェスタ」開催を予定しています。このイベントは、みらいを会場とし、フリーマーケット、模擬店、ミニコンサートなどの内容で、地域の中でまだまだ知名度の少ないみらいを、より多くの方々に知っていただき、障害者理解を図っていこうという試みです。もう一つの新しい試みは、保護者、職員、後援会理事でローテーションを組み、ときには利用者も加わり、フリーマーケットに参加することです。収益を得ることが目的ですが、それだけでなく立場の違う三者が協力することにより、より親密な関係になることを願っています。

他には、井頭温泉まつり、西輝が丘祭(真岡西中学校文化祭)、ふれあいフェスティバルなどのイベント参加、ダンスパーティー開催を予定しています。
みらいの会会長 佐護 操

プールで魚!? スポーツで生き生き!

今年度から下請班リサイクル部の人たちを中心に、作業所を飛び出している楽しい取り組みをしよう、五月から第一、三水曜日をプー

ルの日、第二、四水曜日を体育館の日としての活動がスタートしました。

プールの日は身体障害を合わせ持つ利用者四名を対象にボランティアの力を借りながら、宇都宮市にあるクリーンパーク茂原を利用しています。水を得た魚のようにみんなのびのびと歩いたり、潜ったり、それぞれ楽しんでいきます。また声をかけてくれるプール仲間もでき始めました。

体育館の日は九名の利用者が芳賀町稲毛田体育館に行つて、トランポリンやボール遊び、ボーリング、マット運動などで十分体を動かしています。

体をいっぱい使って、汗をいっぱい流して、笑顔がいっぱいこぼれるよう楽しく取り組んで行きたいと思えます。

みなさんも一緒にいかがですか? ボランティア募集中です。



◆ 8月の予定 ◆

- 2日(土) 職員会議
- 4日(月)~8日(金) 実習生受け入れ
- 12日(火) 一万人プール招待
- 13日(火)~16日(土) 夏季休暇
- 21日(木) 個別支援計画見直し学習会

僕たちのこと
もっと知ってほしい!

ボランティア大募集

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所
028-687-1040

こぶし作業所・後援会
ボランティア大募集!

1. 日曜作業所
2. 日常の作業の介助
3. キッチン・セルフ
4. フリーマーケットの準備

お待ちしています

お問い合わせ こぶし作業所
☎028 (662) 1911

休日を利用して

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなとつてもよいところですよ! ☆

☆第2けやき作業所
☆県東ライフサポートセンター ☆

ボランティア大募集

セルフみらい

箱折り、リサイクル作業
弁当配達のお手伝い
作業ボランティア...etc

☆仲間と一緒に楽しい時間を過ごしましょう☆

社会福祉法人 こぶしの会		
● 法人事務局 こぶし作業所	☎321-0902	栃木県宇都宮市柳田町1401 TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912 TEL 028 (613) 5703 E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
● 生活支援センター		栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内 TEL 028 (622) 0966
● キッチンセルフ	☎320-8508	栃木県宇都宮市元今泉6-14-20 TEL 028 (662) 5533
● こぶしのときわ荘	☎321-0954	栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789 E-mail t.keyaki@ba.wakwak.com
● けやき作業所 デイサービスセンター	☎321-3304	栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818 TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325 E-mail elsc.13.10.1@athena.ocn.ne.jp
● 第2けやき作業所	☎321-3303	栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2 TEL 028 (677) 4430
● 県東ライフサポートセンター		TEL 028 (677) 2876
● すずらんの家	☎321-3304	TEL 028 (677) 0776
● けやきハイツ	☎321-3304	TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
● 第2けやきホーム	☎321-3304	
● セルフ・みらい	☎321-4363	

発行所 郵便番号 350-0733

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧六-二六-二一

定価五〇円